

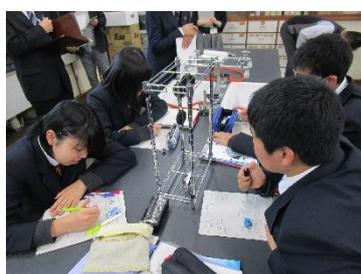
## 学校改革プロジェクト委員会（研究推進）通信

平成29年12月4日

11月27日（月曜日）に、1年1組（物理基礎）の授業で牧田和真教諭による第3回授業研究会が実施されました。滑車を使った実験でしたが、根拠を示して説明することや、他グループの実験に対してグループ内で意見交流する姿が見られ、生徒の学びに向かう姿勢が醸成されていることを伺うことができました。また、いま学んでいることが現実社会のどの部分で使用されているのかを具体的に示すことや、生徒自身が「授業を受けて何ができるようになったか」を記述する（可視化する）時間を設けるなど、授業の出口を明確にされていると感じました。



（自分なりに考察を記述する生徒の姿）



（自らの考察をグループ内の生徒に伝える生徒）



（実験の様子はプロジェクタで拡大）

今回は、白鳥中学校・白鳥小学校・牛道小学校・石徹白小学校の白鳥地区の学校だけではなく、高鷲中学校や川合小学校（八幡町）からも授業研究会に参加してくださいました。川合小学校には授業研究会の案内を出していませんでしたが、白鳥中学校の片桐校長先生からご紹介いただいて参加してくださいました。本校の取り組みを郡上市の小・中学校の先生方に知ってもらえることは、今後、継続的に授業改善を実施していく際に、授業研究会のノウハウを持つ小・中学校の先生の支援をいただけることにもなります。本当にありがたいことだと思います。小・中学校の先生方の感想は、以下のとおりです。

#### 授業参観の感想

- ・アクティブな授業構造を追及され、アクションをおこしている歩みに感動した。
- ・子どもたちが主体的、対話的に考えていた。
- ・伝えられる、反応できる生徒を育てたい。
- ・実生活と結びつけるまとめは、理科を学ぶ価値となり良かった。
- ・高校でも「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて学校が一丸となって取り組んでいることが伝わった。
- ・お互いに考えを交流するだけでなく、疑問に思ったことも自然に交流していました。
- ・各グループに用意された教具によって、生徒の追究活動が主体的に進んだと感じました。



#### 授業研究会の感想

- ・もう少し時間を確保し、明日から実践できるように、成果と課題を具体的にするとよい。
- ・多面的な授業改善のための意見交流がされていて、学び合っていこうとする構えが素晴らしい。
- ・生徒が本当に分かっているのかという見届けを確実にしたい。
- ・KJ法は多くの意見が反映できるので、続けたい。多くの先生の考えを聞くことができた。

本校の教員が授業研究会で「主体的、対話的で深い学び」をしていることで、今年度1年かけて取り組んでいる「授業改善」の取り組みが、「主体的、対話的で深い学び」を先行して実践をしている小・中学校の先生にも伝わったと思います。

しかし、その一方で本校の授業参観の様子から次のようなご意見をいただきました。

「小・中では、児童生徒の主体的な活動の様子、意見交流を間近で見て、生徒が先生のどんな働きかけのときに動いたかを検証し、授業改善に活かしていくことがあります。グループ活動の際には、もっと生徒の近くで様子を参観するのも一つの方法かと思います。」

まだまだ、生徒の成長に目を向けられていないという指摘を受けていますので、授業の際には、授業者も参観者も「1時間で生徒がどのように変化したのか（できれば生徒自身がその変化を実感できるような手立てを作る）」を意識しながら、授業改善に取り組んでいただけたらと思います。

研究推進委員会が実施する授業研究会は今回で終了ですが、プチ授業研究会は大歓迎です。また、日ごろからお互いの授業を参加し合うことも授業改善にきっかけになります。ぜひ、今年度の取り組みをきっかけに「学び合う学校」にしていきましょう！

来年度以降も継続的な研修を実施するために、どのような配慮が必要だと思いますか

- ・回を重ねる上で、人数も増えているという実感がある。授業者に負担がかからないように、ライトに参観できる雰囲気を守っていただけると良いと思う。

- ・働き方改革、他の業務のスリム化

※教師の専門性を維持するために、教科指導力の向上のための時間をどうしたら確保できるかを考えていかないとけません。校長先生が職員

会議で言われたように、業務を継続するだけでなく、スリム化をしていく必要があると感じます。

- ・負担感なく実施していくことが大切だと思う。

- ・時間を守ること。

- ・授業者・参観者、双方に負担がかかりすぎない研修にすること。

※負担軽減のためにも、右の要項を厳守していきたいと思います。

《コンパクト授業研究会の要項》

- ・学習指導案の作成はしない
- ・授業参観中に付箋を記入する
- ・KJ法で小グループ内で意見交流をする
- ・授業研究会は30分間で実施する
- ・共有すべき感想は通信で紹介する



小・中学校のどの先生の感想にも「ぜひ、授業を参観しにきてください」と書いてありました。本日は味藤先生と武藤先生が大和中学校の授業参観・授業研究会に参加しています。来年度も郡上市教育研究会が主催をする教科部会が実施されます。高等学校においても、新学習指導要領で「主体的、対話的で深い学び」が求められると思います。ぜひ、すでに実践している小・中学校の授業を参観し、授業改善に役立ててください。